

200字メソッド

- ① ア は 1 ため A である。(約 70 字) ……………
- ② しかし、イ は 2 ため B である。(約 70 字) ……………
- ③ だから、ア よりも イ のほうが C であると言える。(約 60 字) ……主張 (意見)
- ↑ ↓ 対比関係 } 根拠
↓ 因果関係

- ◆ 「ア、1、A」→「イ、2、B」と考えてはいけない。
「ア・イ」→「A・B/1・2」と考える。または、
「A・B/1・2」→「ア・イ」と考える。
- ◆ ア・イには、「やや具体的」な言葉を入れる (正確には「A・B よりも具体的」)。
- ・手で触れられる具体物を避ける。
例) 方法 (やり方)、状態、様子など
 - ・文のようにしてもよい。
例) 図書館で本を借りて読むということは……
書店で本を買って読むということは……
 - ・抽象的な反対語から書き始めないこと。
例) × 安全は、……。しかし、危険は、……。
× 特別とは、……。しかし、普通とは、……。
- ◆ A・Bには、「抽象的」な言葉を入れる。
- ・反対語
 - ・否定形の表現

変形バージョン(1) …… 〈具体〉が入る (その1)

ア は などのように 1 ため A である。
一方、イ は などのように 2 ため B である。
だから、ア よりも イ のほうが C であると言える。

変形バージョン(2) …… 〈具体〉が入る (その2)

ア は、1 (な)ため、★ などのように A である。
たとえば、★ は、a である。
しかし、イ は、2 (な)ため、☆ などのように B である。
たとえば、☆ は、b である。

変形バージョン(3) …… 同じ主題 (★) について対比する

★ は、ア という点では 1 ため A である。
しかし、イ という点では 2 ため B である。
だから、★ は、C であると言える。